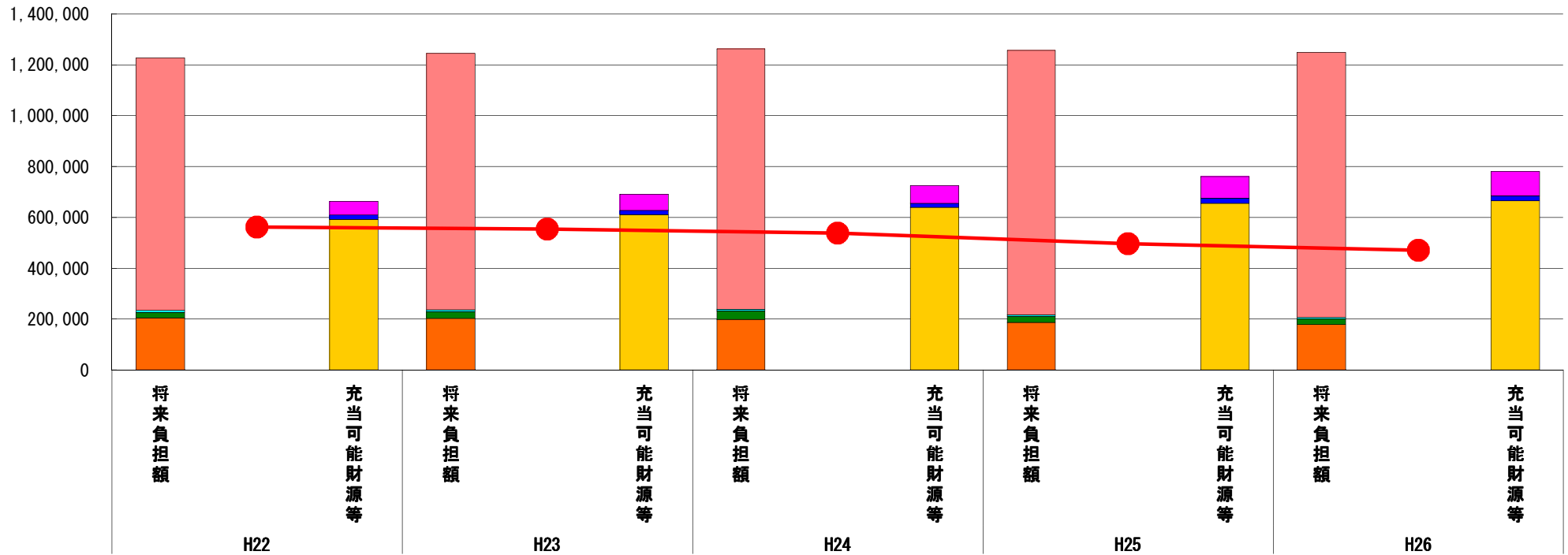


(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成26年度

愛媛県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		991,151	1,008,090	1,024,643	1,040,663	1,043,043
	債務負担行為に基づく支出予定額		8,287	7,637	7,011	6,410	6,322
	公営企業債等繰入見込額		22,450	25,134	32,243	22,439	21,404
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		204,169	203,230	199,243	187,055	178,565
	設立法人等の負債額等負担見込額		27	31	29	33	22
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		55,391	64,489	69,430	85,260	94,122
	充当可能特定歳入		17,090	16,431	16,503	19,341	20,482
	基準財政需要額算入見込額		591,402	610,226	638,519	655,772	664,613
(A) - (B)	将来負担比率の分子		562,200	552,976	538,717	496,227	470,139

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、交付税措置のある臨時財政対策債の残高増加により増加しているものの、事業削減により建設地方債等の残高は減少している。このほか、職員数の減等により、退職手当負担見込額が減少している。

また、財政健全化基本方針等に基づく取組みを徹底し、財政基盤強化積立金等の積み増しにより、充当可能基金が増加した。

今後も、将来負担に配慮した地方債発行を行うなど、引き続き財政運営の適正化に努める。